2203	115	題号不明	池内たけし	言語	怖しや吹雪倒れの谷はこゝ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	341	￥43	￥1	￥1	冬
2204	115	題号不明	池内たけし	言語	垣の内竹馬の子に覗かるゝ	2008	『俳句歳時記　第四版』	767	￥43	￥1	￥1	冬
2205	115	題号不明	池内たけし	言語	厄塚に一寸拝んで捨つるもの	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	428	￥43	￥1	￥1	冬
2206	115	題号不明	池内たけし	言語	一卜本の八つ手の花の日和かな	2008	『俳句歳時記　第四版』	828	￥43	￥1	￥1	冬
2207	115	題号不明	池内たけし	言語	敷きつめし銀杏落葉の上に道	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	569	￥43	￥1	￥1	冬
2208	115	題号不明	池内たけし	言語	枯草の三笠山とは見て憩ふ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	600	￥43	￥1	￥1	冬
2209	115	題号不明	池内たけし	言語	枯蘆の中へ〳〵と道のあり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	601	￥43	￥1	￥1	冬
2210	115	題号不明	池内たけし	言語	石蕗咲いて無闇と句碑の立てるかな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	606	￥43	￥1	￥1	冬
2251	117	題号不明	中川宋淵	言語	堂塔の影を正して冬に入る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	25	￥43	￥1	￥1	冬
2252	117	題号不明	中川宋淵	言語	七つ星樹氷の空をありくなる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	103	￥43	￥1	￥1	冬
2253	117	題号不明	中川宋淵	言語	年木樵ぬかるみを踏み雲を踏み	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	191	￥43	￥1	￥1	冬
2254	117	題号不明	中川宋淵	言語	臘八の巨いなる雲動きをり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	439	￥43	￥1	￥1	冬
2255	117	題号不明	中川宋淵	言語	笹鳴や雪に灯ともす東大寺	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	487	￥43	￥1	￥1	冬
2263	118	題号不明	中村契子	言語	寒潮や塩もて磨く男の歯	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	142	￥43	￥1	￥1	冬
2272	119	題号不明	中田みづほ	言語	枯園や神慮にかなふ薔薇一つ	2008	『俳句歳時記　第四版』	700	￥43	￥1	￥1	冬
2273	119	題号不明	中田みづほ	言語	雪蓑の子が立つ道のまん中に	2008	『俳句歳時記　第四版』	721	￥43	￥1	￥1	冬
2279	120	題号不明	中島月笠	言語	年守るやなにか舟来て乗れと云ふ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	199	￥43	￥1	￥1	冬
2313	121	題号不明	中嶋秀子	言語	待春か耐寒か石しづかにて	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	67	￥43	￥1	￥1	冬
2314	121	題号不明	中嶋秀子	言語	寒卵割つて左右の手が分る	2008	『俳句歳時記　第四版』	727	￥43	￥1	￥1	冬
2315	121	題号不明	中嶋秀子	言語	どつぷりとつかりてこその炬燵かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	314	￥43	￥1	￥1	冬
2316	121	題号不明	中嶋秀子	言語	寒鯉に力満ちきて動かざる	2008	『俳句歳時記　第四版』	819	￥43	￥1	￥1	冬
2317	121	題号不明	中嶋秀子	言語	室咲に問ふ何が真なにが嘘	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	545	￥43	￥1	￥1	冬
2318	121	題号不明	中嶋秀子	言語	花八ツ手星またたけば少し散り	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	552	￥43	￥1	￥1	冬
2319	121	題号不明	中嶋秀子	言語	冬すみれむかし利発な子と呼ばれ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	608	￥43	￥1	￥1	冬
2335	122	題号不明	朝倉和江	言語	見舞人枯野の匂ひまとひ来る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	135	￥43	￥1	￥1	冬
2336	122	題号不明	朝倉和江	言語	いつの世も足袋の白さは手で洗ふ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	246	￥43	￥1	￥1	冬
2337	122	題号不明	朝倉和江	言語	日記買ふ癒ゆるなき身をはげまして	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	328	￥43	￥1	￥1	冬
2338	122	題号不明	朝倉和江	言語	水仙の葉先までわが意志通す	2008	『俳句歳時記　第四版』	841	￥43	￥1	￥1	冬
2339	122	題号不明	朝倉和江	言語	よみがへる寝墓の嵩や草枯れて	2008	『俳句歳時記　第四版』	849	￥43	￥1	￥1	冬